

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-550	17-017	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b> <p>Binge drinking and total alcohol consumption from 16 to 43 years of age are associated with elevated fasting plasma glucose in women: results from the northern Swedish cohort study.</p> <p>女性の 16 歳から 43 歳までの短時間大量飲酒および総アルコール摂取量は高い空腹時血糖値と関連する：スウェーデン北部コホート研究</p>		
<b>執筆者</b> <p>Nygren K, Hammarström A, Rolandsson O.</p>		
<b>掲載誌</b> <p>BMC Public Health. 2017 Jun 8;17(1):509. doi: 10.1186/s12889-017-4437-y.</p>		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
糖代謝、性差、縦断研究、短時間大量飲酒、総飲酒量		28592314
<b>要 旨</b> <b>目的：</b> 糖代謝異常への飲酒の影響には、総飲酒量に加え飲酒パターンを考慮すべきであり、また若年期からの飲酒の影響も知られていない。本研究では、16 歳から 43 歳までの総飲酒量および短時間大量飲酒の有無と 43 歳時点での空腹時血糖値との関連を明らかにすることを目的とした。		
<b>方法：</b> 対象はスウェーデン北部コホート研究の参加者である。同研究にはスウェーデン北部のとある自治体で 1981 年に 16 歳であった生徒 1083 名が参加し、18、21、30、43 歳の 4 時点で追跡調査を実施した。空腹時血糖値は 43 歳時点での健康診断で測定した。総飲酒量および短時間大量飲酒の有無は対象者への質問票によって評価した。純エタノール量を推算し、一回の飲酒機会あたり女性で 48g 以上、男性で 60g 以上を短時間大量飲酒とした。解析対象は、追跡不可能者、空腹時血糖値のデータ欠損者および 1 型、2 型糖尿病罹患者を除外した 897 名とした。解析には BMI、高血圧、喫煙を調整した線形回帰モデルを用いた。		
<b>結果：</b> 女性よりも男性で総飲酒量および短時間大量飲酒が多く、空腹時血糖値が高かった。女性では 16 歳から 43 歳までの総飲酒量、短時間大量飲酒、および 2 つを組み合わせた指標が 43 歳時点での空腹時血糖値と正の関連を示した（それぞれ、 $\beta=0.138$ , $p=0.004$ ; $\beta=0.121$ , $p=0.012$ ; $\beta=0.144$ , $p=0.003$ ）。一方、男性ではそのような関連は認められなかった。		
<b>結論：</b> 飲酒量が多い若年～中年期の非糖尿病女性では、飲酒総量および短時間大量飲酒を減らすことが将来の糖代謝異常予防に重要であることが示唆された。		